

もの言う牧師のエッセー 第212話

「14歳スーパーモデル」

フランスの名門ファッションブランド「クリスチャン・ディオール」が、身長178cmでイスラエルのテルアビブ近郊に住む14歳中学生美少女、ソフィア・メシエトナーさんと1年あたり26万5000ドル（約3200万円）でモデル契約、2015～16年秋冬コレクションでモデルデビュー。しかもトップバッターを務めてディオールの“顔役”を果たしたというからスゴイ。

もともと彼女は2Kの狭いアパートに母親、妹、弟と暮らしていたが、離婚して女手一つで子供たちを育てている母親の収入は月1000ドル程度。生活は苦しく、家計を助けられる仕事探していた折、自身が高身長であるゆえにモデルと間違われることが多かったことから、身長を生かしてモデルに挑戦しようと決意。母親に付き添ってもらってテルアビブのモデル事務所に出向いたところ、対応したロツテム・ガー氏は「これは逸材」と直感。モデル経験ゼロの彼女を連れてすぐにパリへ飛び、主要なエージェントに売り込んだものの、その低年齢が問題視され軒並み断られた。フランスではモデルの年齢制限はないが、英国や米国、イタリアでは16歳未満のモデルは禁止されており、“私生活を覗かれる”モデルの仕事は少女には酷”という意見が少なくない。

得るものなく、明日はイスラエルに帰るといふ日、彼らはディオール専門店にふらりと立ち寄った。すると、たまたまそこにディオールの主任デザイナー、ラフ・シモンズ氏が居合わせ彼女と意気投合。彼はその場でソフィアさんをスカウトしたのだった。

聖書には、若さや経験不足を理由にやる気のなくなることを言う大人や、逆に物怖じする若者が大勢登場するが、後にイスラエルの王となるダビデも、まだ彼が幼い美少年だった頃、巨人ゴリアテと対戦しようとして

「あなたは、あのペリシテ人のところへ行って、あれと戦うことはできない。

あなたはまだ若いし、あれは若い時から戦士だったのだから。」1サムエル記 17章 33節、

などと言われている。しかし、もともと羊飼いだっただけの彼は、羊の群れを守るための武器である投石器を使い、一撃でこの巨人を倒したのだった。だからと言って彼はすぐに王になれたわけではない。むしろ長きにわたって茨の道を歩んだ。だがそれは、彼が“スーパーな人間”になるために神が用意した訓練だったのである。神を信頼し、若くても未経験でも、まず一步を踏み出す。時には酷なこともあるが、その道の先には大舞台が待っている。

2015-12-18

